

國學院大學學術情報リポジトリ

神道研究の国際的ネットワーク形成：
神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成：
21世紀COEプログラム

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 國學院大學21世紀COEプログラム「神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成」 公開日: 2024-06-25 キーワード (Ja): 170.4, 神道 シントウ キーワード (En): 作成者: 井上, 順孝, 魯, 成煥, 色, 音, テーウエン, マーク, ブリーン, ジョン, ベンテリー, ジョン, ナカイ, ケイト, ヘイヴンズ, ノルマン, 遠藤, 潤, 平藤, 喜久子, 武井, 順介, シッケタンツ, エリック, 加藤, 里美, 加瀬, 直弥, 松本, 久史, 真田, 治子, 稲場, 圭信, 國學院大學21世紀COEプログラム メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000506

21世紀COEプログラム
21st Century Center of Excellence Program

神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成
Establishment of a National Learning Institute for the Dissemination of
Research on Shinto and Japanese Culture

神道・日本文化研究国際シンポジウム（第5回）

神道研究の国際的ネットワーク形成



平成19年2月
国学院大学21世紀COEプログラム研究センター

21世紀COEプログラム
21st Century Center of Excellence Program

神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成
Establishment of a National Learning Institute for the Dissemination of
Research on Shinto and Japanese Culture

神道・日本文化研究国際シンポジウム（第5回）

神道研究の国際的ネットワーク形成

平成19年2月21日
國學院大學21世紀COEプログラム研究センター

目 次

はしがき 井上順孝（事業推進担当者、国学院大学教授）	1
----------------------------------	---

国際シンポジウム「神道研究の国際的ネットワーク形成」

2006年9月22日 国際シンポジウム

開会の挨拶 井上順孝	6
------------------	---

〈セッション1〉

司会 浅野春二（事業推進担当者・国学院大学助教授）

発題 魯成煥（韓国 蔚山大学校教授）

神道研究における日韓協力方案	9
----------------------	---

質疑応答	17
------------	----

〈セッション2〉

司会 浅野春二

発題 色音（中国 北京師範大学文学院民族與社会發展研究所教授）

中国における神道及び日本文化研究のネット化の必要性と可能性	21
-------------------------------------	----

質疑応答	29
------------	----

〈セッション3〉

司会 ノルマン・ヘイヴンズ（Norman Havens 事業推進担当者・国学院大学助教授）

発題 マーク・テーウエン（Mark Teeuwen ノルウェー オスロ大学教授）

神道研究のネットワーク作り	32
---------------------	----

質疑応答	41
------------	----

〈セッション4〉

司会 ノルマン・ヘイヴンズ

発題 ジョン・ブリーン（John Breen イギリス ロンドン大学東洋・アフリカ学院教授）

知的ネットワークの意義と機能	45
----------------------	----

質疑応答	55
------------	----

〈セッション5〉

司会 ケイト・ナカイ（Kate Wildman Nakai 上智大学教授）

発題 ジョン・ベンテリー（John Bentley アメリカ 北イリノイ大学准教授）

神道古典と言語学のネットワーク形成	58
-------------------------	----

質疑応答	66
------------	----

〈セッション6〉

司会：ケイト・ナカイ

井上順孝

英訳神道事典のネット上での展開と神道研究の国際化	71
質疑応答	80

2006年9月23日 研究フォーラム

開会の挨拶 井上順孝	86
------------------	----

司会：井上順孝

〈日本側の計画に基づく討議1〉

ノルマン・ヘイヴンズ	89
遠藤潤（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所助手）	93
平藤喜久子（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所講師）	95
武井順介（国学院大学21世紀COEプログラム研究員）	100
エリック・シッケタンツ（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所調査員）	104
質疑応答	108

〈日本側の計画に基づく討議2〉

加藤里美（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所講師）	118
加瀬直弥（COE事務局・国学院大学研究開発推進センター講師）	122
松本久史（COE事務局次長・国学院大学日本文化研究所講師）	126
質疑応答	130

〈自由討議〉

真田治子（埼玉学園大学助教授）	143
稲場圭信（神戸大学助教授）	148
自由討議	152





はしがき

井上順孝

この報告書は、国学院大学 21 世紀COEプログラム「神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成」による研究の一環として行われた第5回国際シンポジウムと研究フォーラムの結果をとりまとめたものである。同プログラムの第Ⅲグループの研究目的の一環として、2002 年度以来毎年度開催されてきたもので、これが最終回となる。

過去 4 回のシンポジウムのテーマは、「各国における神道研究の現状と課題」（2002 年度）、「〈神道〉はどう翻訳されているか」（2003 年度）、「神道の連続と非連続」（2004 年度）、「オンライン時代の神道研究と教育」（2005 年度）である。これまで国内外の神道研究者のネットワーク形成と研究成果の情報発信を目指して行われてきた連続シンポジウムであるが、今回は最終年度に当たるので、とくに目指した目標がある。それはCOEプログラムによって形成された拠点で、今後どのような研究・調査及び共同プロジェクトを実施できるかについて、具体的なビジョンを描くということである。

このシンポジウムと平行して進めてきたのが、改訂英訳『神道事典』（Encyclopedia of Shinto、略称EOS）のオンライン公開である。オンライン化は順次実現され、2007 年 3 月には、予定通り元の事典の本文部分がすべてアップロードされることになっている。

（<http://eos.kokugakuin.ac.jp/>を参照）EOSのアップロードの完了は、神道研究者の国際的ネットワーク形成には、新たな段階をもたらすと確信している。そのこともまた強く意識して、シンポジウムとフォーラムが実施された。

シンポジウムにおいては、神道研究を国際的に展開する上で、何が障害になっていたかが、あらためて論じられ、また連続シンポジウムによって形成されたネットワークを具体的に作動させるための提案がいくつか掲げられた。かなり大きな問題提起もあったし、またすぐ実現可能な提案もあった。しかしながら、もっとも大きな問題点はむしろ国内の神道研究者の意識にあることも浮かび上がった。すなわち国外で展開されている神道に関する議論に目を向けようとしない研究者が少なくないということである。この点を改善するためにどのようなプロジェクトを立ち上げるかも、今後の研究拠点におけるひとつの課題となる。

今回は初日に 6 つの発題からなる国際シンポジウムを行い、2 日目にプログラムを推進してきた若手研究者を交えて、より具体的な議論を行う研究フォーラムを開催した。そして 3 日目には、これまで同様、実際に神道あるいはそれにかかわりの深い宗教施設を見学し、面談し、行事や実践法を観察するというを行った。面談調査の対象としたのは、PL 教団東京中央教会と道会本部であり、儀礼の観察対象としたのは、東京町田市の町田天満宮の秋季大祭である。PL 教団東京中央教会長の正井啓介氏と教団本部の川島通資氏、及び道会の栗原昭治氏には丁寧に活動の説明と施設の紹介をしていただいた。

会議開催に際しては、国際宗教研究所研究員の宮坂清氏、国学院大学神道文化学部の稲葉遼一君、海上千晶さん、金子香奈里さんに、お手伝いをいただいた。これらの方々にも感謝の言葉を述べたい。

最後に、第5回のシンポジウムの日程等の概要と実行委員会のメンバーとを以下に示しておく（肩書きはシンポジウム当時）。

第5回神道・日本文化研究国際シンポジウム

テーマ「神道研究の国際的ネットワーク形成」

国際シンポジウム

日時 2006年9月22（金）10：00～17：00

会場 国学院大学若木タワー地下1階02会議室

10：00～10：10

開会の挨拶及びシンポジウム趣旨説明

井上順孝

<セッション 1>

10：10～11：00

司会 浅野春二

発題 魯成煥「神道研究における日韓協力方案」

<セッション 2>

11：10～12：00

司会 浅野春二

発題 色音「中国における神道及び日本文化研究のネット化の必要性和可能性」

<セッション 3>

13：00～13：50

司会 ノルマン・ヘイヴンズ

発題 マーク・テーウェン「神道研究のネットワーク作り」

<セッション 4>

14：00～14：50

司会 ノルマン・ヘイヴンズ

発題 ジョン・グリーン「知的ネットワークの意義と機能」

<セッション 5>

15：10～16：00

司会 ケイト・ナカイ

発題 ジョン・ベンテリー「神道古典と言語学とのネットワーク形成」

<セッション 6>

16:10~17:00

司会 ケイト・ナカイ

発題 井上順孝「英文神道事典のネット上での展開と神道研究の国際化」

*各発題 30 分、質疑応答 20 分

研究フォーラム

日時 2006 年 9 月 22 (金) 10:30~16:00

会場 国学院大学若木タワー 5 階 0502 教室

<日本側の計画に基づく討議 1>

10:30~12:00

司会 井上順孝

発題者 ノルマン・ヘイヴンズ、遠藤潤、平藤喜久子、武井順介
エリック・シッケタンツ

<日本側の計画に基づく討議 2>

13:00~14:20

司会 井上順孝

発題者 加瀬直弥、加藤里美、松本久史

<自由討議>

14:40~16:00

司会 井上順孝

発題者 真田治子、稲場圭信

実行委員会

- 実行委員長 井上順孝（事業推進担当者・国学院大学教授）
- 実行委員 Norman Havens（事業推進担当者・国学院大学助教授）
- 黒崎浩行（事業推進担当者・国学院大学講師）
- 平藤喜久子（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所講師）
- 藤井弘章（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所講師）
- 遠藤潤（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所助手）
- 武井順介（COE研究員・国学院大学日本文化研究所共同研究員）
- 市田雅崇（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所兼任講師）
- 大澤広嗣（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所調査員）
- Erik Schicketanz（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所調査員）
- 江島尚俊（事業推進協力者・国学院大学日本文化研究所共同研究員）
- James Mayger（国学院大学日本文化研究所共同研究員）